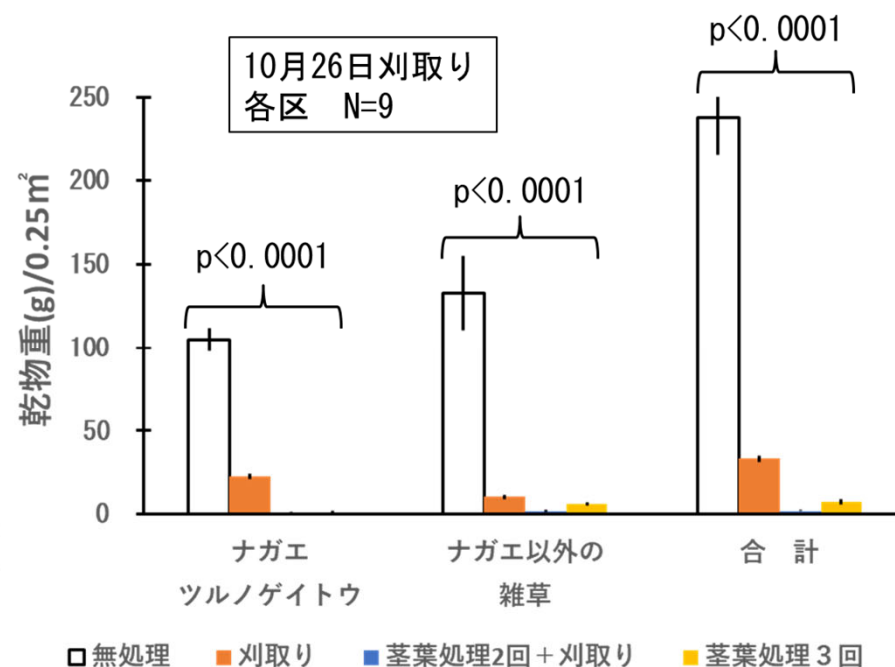
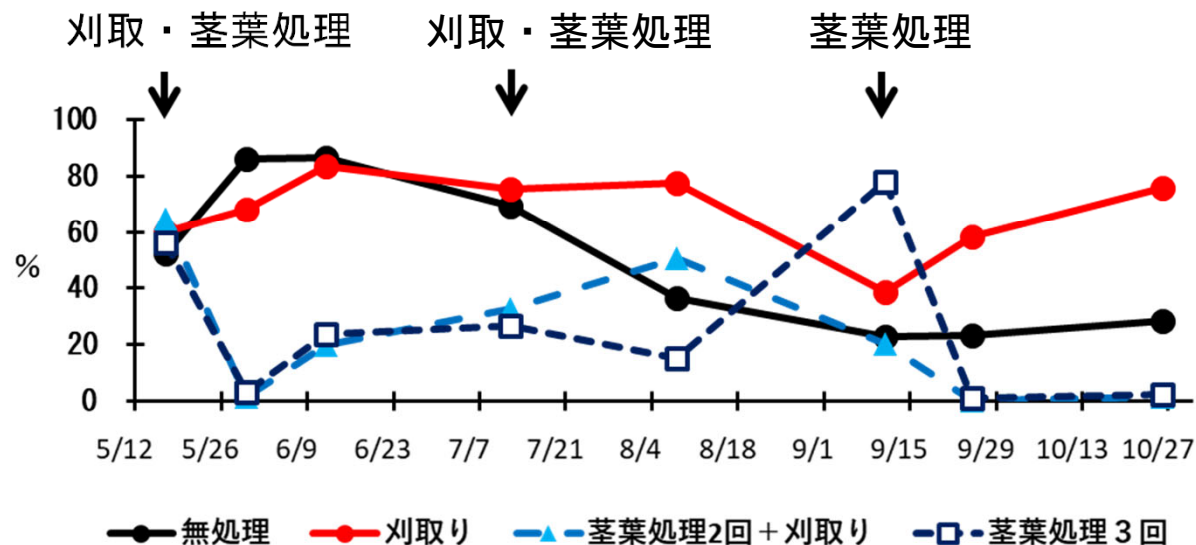


②農地における防除・低密度管理

除草剤による体系防除



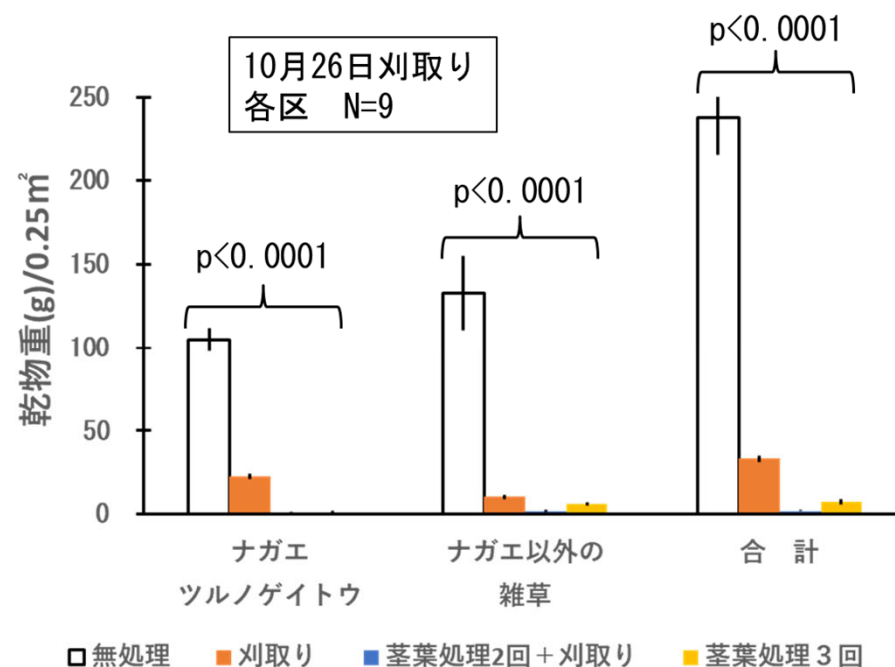
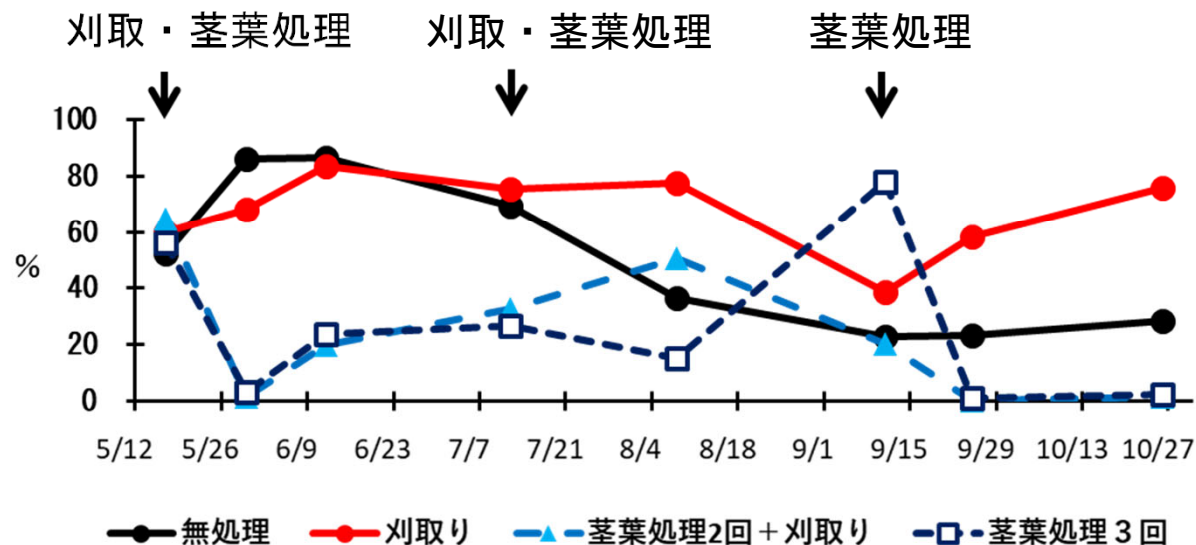
ナガイツルノゲイトウがまん延する畦畔における
各処理区のナガイツルノゲイトウ被度の推移

※茎葉処理剤はグリホサートカリウム塩を散布

- ・畦畔では刈取りを重ねると純群落形成を誘導
- ・グリホサートも5月や7月処理は効果低い。9月処理が有効
- ・グリホサート処理で低密度管理は可能だが、根絶は難しい

②農地における防除・低密度管理

除草剤による体系防除



ナガイツルノゲイトウがまん延する畦畔における
各処理区のナガイツルノゲイトウ被度の推移

※茎葉処理剤はグリホサートカリウム塩を散布

- ・畦畔では刈取りを重ねると純群落形成を誘導
- ・グリホサートも5月や7月処理は効果低い。9月処理が有効
- ・グリホサート処理で低密度管理は可能だが、根絶は難しい

※防除手段としての除草剤使用にあたっての留意点

農地内での散布＝**農薬登録（国への登録）**が必要

※農薬：農作物等の栽培管理に使用する薬剤。それ以外の用途は農薬と呼べない。

- ・適用農作物，使用時期，適用量，使用方法などの遵守（農薬取締法で厳しく制限）

適用雑草の範囲及び使用方法

1キロ粒剤（適用表より抜粋）

登録番号

有効成分（一般名）：1.8% ■人畜毒性：普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	を含む 農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ヒルムシロ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内
		植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布	

上記の除草剤は，移植水稻栽培用。

→ 直播栽培や畦畔には使用不可

河川，養殖池等に飛散・流入しないよう使用
散布機器や容器の洗浄水も河川に流さない

→ 水路にも適用不可，飛散にも注意

ラベルの記載以外には使用・適用不可



適用場面が限定（農地以外は×）



非農耕地用除草剤

「農薬」ではない除草剤（農薬登録不要）
道路、駐車場、グラウンドなど、**農作物や
樹木・芝・花き などの栽培・管理の目的
以外**で使用。農作物に使用すると罰則

非農耕地用除草剤の使用にあたっては、
ラベルに記載される注意事項を守り，周
辺の田畑や住宅地，河川など水域に飛散
させないことが求められる。毒劇法や化
審法の規制も適用される。